

適用規格					
<div style="display: flex; align-items: center;"> ① <div style="margin-left: 5px;"> 定格 適合コネクタ 適合圧着端子 </div> </div>	使用温度範囲	-55℃ ~ +105℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	20% ~ 80% (注2)	保存湿度範囲	40% ~ 70% (注3)	
	適合コネクタ	DF63SF-3S-3.96C	電圧	AC/DC 630V	
	適合圧着端子	DF63SF-1618SCFA(##)	電流	AWG#16 : 15 A/pin AWG#18 : 13 A/pin	
<div style="display: flex; align-items: center;"> ① <div style="margin-left: 5px;"> 定格電圧 UL, C-UL TÜV </div> </div>		定格電圧	定格電流	過電圧カテゴリ	IP-保護方式
		AC/DC 600V	上記参照	-	-
		AC/DC 300V	上記参照	II	IP00
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	20mV 以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。	10 mΩ 以下	○	-
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	-
	耐電圧	AC 2200 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-
機械的性能	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 20mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐振性	周波数 10~55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	結合力及び離脱力	適合コネクタで測定する	結合力 20.0 N以下 離脱力 1.0 N以上	○	-
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90~95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1~2時間放置後測定)	①接触抵抗: 20mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	温度サイクル	温度 -55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2~3分 (室温に1~2時間放置後測定)	①接触抵抗: 20mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐熱性	温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する	①接触抵抗: 20mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
	耐寒性	温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する	①接触抵抗: 20mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	-
備考					
(注1) 通電時の温度上昇を含む。					
(注2) 結露のないこと。					
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。					
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
①	2	DIS-H-00006130	TS. MIYAKI	SZ. ONO	20200730
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。			承認	HS. OKAWA	20170123
			検図	YN. TAKASHITA	20170123
			担当	SANGMUK. LIM	20170123
			製図	SANGMUK. LIM	20170123
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番		
			SLC-374749-52-00		
	製品規格表		製品名		DF63SF-2P-7.92TV (52)
	ヒロセ電機株式会社		製品コード		CL680-0704-0-52
					① 1/2

性		能		QT	AT
項目	試験方法	規格			
環境的 性能	はんだ耐熱性	【リフローはんだ付けの場合】 以下の条件でリフローを行う。 リフロー部：ピーク温度250℃ 10秒以内 220℃以上 60秒以下 予熱部：150～180℃ 90～120秒 リフロー回数：2回以下 裏面でリフローしないこと。 【手はんだの場合】 はんだごて温度 350±10℃、5秒の条件にては んだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。	外観の変形及び端子等に著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245℃、浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだ でぬれていること。	○	—
<div style="text-align: center; padding: 20px;"> <p>注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目</p> <p>  製品規格表 ヒロセ電機株式会社 </p> <p> 製品名 SLC-374749-52-00 製品コード DF63SF-2P-7. 92TV (52) CL680-0704-0-52 </p> </div>					